

総合診療科

■ スタッフ

科長		竹村 洋典
医師	常勤	6名
	非常勤	3名

■ 特色・診療対象疾患

1. 当科の特色

地域の住民が健康で豊かな生活を送ることを目指し、臓器にかかわらず様々な身体や心の問題に対して診療することにより、患者中心の医療を提供するようにつとめました。様々な職種のスタッフとの協働体制をとっています。そして総合診療の経験豊かな教員スタッフと教員スタッフの指導の下、学生・研修医も真摯に診療しました。

2. 主な診療対象疾患

○かぜ、頭痛、めまいなど、日常でよく起こりうる病気や症状がある方の診療

○様々な疾患をもったり、問題が多臓器に及んだりするため、一つの科だけでは診られない方の診療

○不明熱、原因不明の検査異常など他の医療機関や他の専門科で診断・治療が難しい方の診療

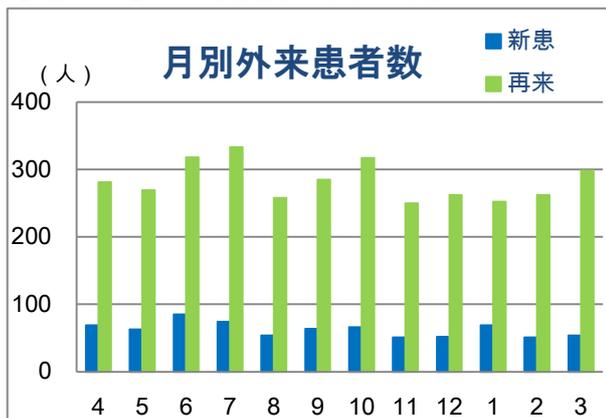
○精神科での治療が必要でないうつ病などの心の問題のある方の診療

○大学病院でないと出来ない健診・検診業務

■ 活動実績

診療患者数は、別表の通り推移しています。

昨年度までと同じく、複数・多領域にまたがる症例を継続的に診療することが多かったが、最近では、近隣医療機関からの診断に難渋する例の紹介も増えてきている状況にあります。



1. 治療実績

○かぜ、頭痛、めまいなど日常でよく起こりうる病気や症状

○どこに受診したらよいかわからない症状

○身体の問題をもちながら心の問題ももつ疾患

○他の医療機関や他の専門科で原因がわからない症状

○入学や入社などに必要な健康診断

2. 教育活動の実績

教育・研修

1. 卒前医学教育

(1) 医療と社会 (医学科1年生)・地域基盤型保健医療教育 (医学科1, 2年生)

(2) 研究研修

(3) 基本的臨床教育 (医療面接など)

(4) チュートリアル

(5) クリニカルクラークシップ (家庭医療・地域医療) (医学科4, 5年生)

(6) 臨床実習 (家庭医療選択) (医学科6年生)

(7) 多職種の学生による多職種連携教育

2. 卒後臨床研修

(1) 初期研修

(2) 家庭医療・総合診療後期研修

(3) 基幹病院での出張研修医教育

3. 大学院教育

(1) 修士課程 (家庭医療・地域医療)

(2) 博士課程 (家庭医療・地域医療)

4. 地域の医師向け生涯教育

5. 市民向けワークショップ

6. 多職種連携教育

3. 臨床研究等の実績

1. 出版 (書籍)

- ・ 洪英在. 総合内科 999 の謎 (分担執筆). 清田雅智・八重樫牧人 (編)メディカルサイエンスインターナショナル, 東京. 2015.
- ・ 小嶋秀治. 総合診療専門医のカルテ・プロブレムリストに基づく診療の実際、骨粗鬆症、124-125、中山書店
- ・ 谷崎隆太郎. グローバル感染症マニュアル (分担執筆). 南江堂, 東京. 2015.
- ・ 大西丈二. クエスチョン・バンクケアマネ 2016 (編集協力). 株式会社メディックメディア 2016.
- ・ スーパー総合医「コモンディジーズ 診療の技を磨く」
- ・ 小嶋秀治. 捻挫・筋肉痛・骨折. in コモンデ

- イジーズ 診療の技を磨く. 中山出版 (2016年2月刊行)
- ・ 森洋平. アレルギー性鼻炎・結膜炎. in コモンディジーズ 診療の技を磨く. 中山出版 (2016年2月刊行)
2. 原著論文 (学会誌, 総説含む)
- 国際誌
- ・ Ie K, Ichikawa S, Takemura Y : Development of a questionnaire to measure primary care physicians' scope of practice. *BMC family practice* 2015; 16: 161.
 - ・ Yokoe M, Takada T, Mayumi T, Shikata S, et al. Japanese guidelines for the management of acute pancreatitis: Japanese Guidelines 2015. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2015; 22: 405-432.
 - ・ Satake S, Senda K, Hong Y-J, et al. Validity of the Kihon Checklist for assessing frailty status. *Geriatr Gerontol int* 2015; DOI:10.1111/ggi.12543.
 - ・ Ukai, T. et al. Early prophylactic antibiotics administration for acute necrotizing pancreatitis: a meta-analysis of randomized controlled trials." *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 2015; 22: 316-321.
 - ・ Horibata K, Takemura Y. Inappropriate use of ambulance services by elderly patients with less urgent medical needs. *Tohoku J Exp Med* 2015; 235: 89-95.
 - ・ Horibata K, Tanoue A, Ito M, Takemura Y. Relationship between renal function and serum magnesium concentration in elderly outpatients treated with magnesium oxide. *Geriatr Gerontol Intern* 2015. (in press)
 - ・ Tanizaki R, Nishijima T, Aoki T, Teruya K, Kikuchi Y, Oka S, Gatanaga H. High-dose oral amoxicillin plus probenecid is highly effective for syphilis in patients with HIV infection. *Clin Infect Dis* 2015; 61: 177-183.
 - ・ Shibata S, Tanizaki R, Watanabe K, Makabe K, Shoda N, Kutsuna S, Nagamatsu M, Oka S, Ohmagari N. *Escherichia coli* Vertebral Osteomyelitis Diagnosed According to Broad-range 16S rRNA Gene Polymerase Chain Reaction (PCR). *Intern Med* 2015; 54: 3237-3240.
 - ・ Sakurai S, Onishi J, Hirai M. Impaired Autonomic Nervous System Activity During Sleep in Family Caregivers of Ambulatory Dementia Patients in Japan. *Biol Res For Nurs* 2015; 17: 21-8.
- 和文誌
- ・ 若林英樹. 医学教育カリキュラムへの行動科学・社会科学の導入～臨床医の立場から～. *医学教育* 2015; 46: 329-334.
 - ・ 植谷可恵, 市川周平, 大和田啓峰, 他. 第1回 EQUATOR Publication School. 薬理と治療 2015; 43, suppl.2: 日本臨床試験学会誌 10. s211 – s218.
 - ・ 糸瀬磨, 和泉泰衛, 井上菜穂子, 原田直樹, 岩永希, 黒濱大和, 伊東正博, 宮下賜一郎, 右田清志. 剖検によりコレステロール結晶塞栓症が明らかになった全身性強皮症の一例. *九州リウマチ* 2015; 35: 35-41.
 - ・ 中桶了太, 浜田久之, 原田直樹, 今立俊輔, 調漸. カナダの地域医療人育成～Northern Ontario School of Medicine 訪問～. *医学教育* 2015; 46: 429-430.
3. 原著論文以外 (商業誌, 総説含む)
- ・ 近藤諭. 在宅での輸液. *レジデントノート増刊* 2016; 18: (2016/3/20 掲載予定)
 - ・ 四方哲. WONCA. 治療 2015; 97: 976-978.
 - ・ 四方哲. 「パブリックインボルブメント」と「ニュー・パブリック・マネジメント」. *全国自治体病院協議会雑誌* 2015; 54: 1229-1230.
 - ・ 鶴飼友彦. めまい. *レジデント* 2015; 8: 89-97.
 - ・ 洪英在. チームでの CGA. *Medical Alliance* 2016; 2: (2016/2 月号)
 - ・ 洪英在. コミュニケーションが困難な患者との医療面接. *レジデント* 2016; 9: (2016年3月号)
 - ・ 洪英在. 高齢者在宅医療における栄養の問題. *在宅新療 0-100* 2016; (2016年3月)
 - ・ 谷崎隆太郎. 典型的な頸椎偽痛風 (Crowned dens syndrome) の2例. *三重医報* 2015; 658: 18-20.
 - ・ 谷崎隆太郎. 感染症を病歴と診察だけで診断する!Part 2 電光石火の感染症 snap diagnosis 編 「6 Don't touch me! 神出鬼没なアイツにご用心」. *総合診療* 2015; 25: 930-933.
 - ・ 谷崎隆太郎. CRPology CRP 以外のマーカー

- のエビデンス「プロカルシトニン」. 治療 2015; 97: 1587-1590.
- ・ 谷崎隆太郎. 目からウロコのかぜ診療「風邪薬の使い方「かぜ」に抗菌薬を処方する?」. レジデントノート 2015; 17: 2433-2440.
 - ・ 診断と治療・特集号「知っておくべき総合診療の現在(いま) 実践と教育・研究から未来を展望する」
 - ・ 森洋平. コミュニケーション教育. 診断と治療 2015; 103: 1593-1596.
 - ・ 橋本修嗣. 救急内科的対応. 診断と治療 2015; 103: 1549-1552.
 - ・ 大西丈二. 高齢者医療. 診断と治療 2015; 103: 1553-1559.
 - ・ 洪英在. 在宅ケア. 診断と治療 2015; 103: 1561-1565.
 - ・ 湯浅美鈴. 緩和ケアの実践のエッセンス. 診断と治療 2015; 103: 1567-1570.
 - ・ 谷崎隆太郎. 小規模病院や診療所における感染症治療のポイント. 診断と治療 2015; 103: 1571-1575.
 - ・ 近藤諭. クリニカルクラクシップ-診療参加型の地域実習-. 診断と治療 2015; 103: 1601-1605.
 - ・ 若林英樹. 総合診療における研究のすすめ. 診断と治療 2015; 103: 1621-1625.
 - ・ 市川周平. 研究倫理にまつわる最新の動向. 診断と治療 2015; 103: 1626-1630.
 - ・ 四方哲. システムティックレビュー. 診断と治療 2015; 103: 1636-1640.
 - ・ 鶴飼友彦. 総合診療の継続性. 診断と治療 2015; 103: 1644-1646.
 - ・ 知りたい!聞きたい!認知症 Q&A MB Medical Rehabilitation 遠藤英俊編(分担)
 - ・ 大西丈二. 認知症の介護サービスとは?
 - ・ 大西丈二. 認知症の人の施設サービスとは?
 - ・ 大西丈二. 認知症の成年後見制度とは?
4. 国内学会・研究会発表(口述, ポスターを含む)
- ・ 田口智博, 加藤沙彩, 佐藤友紀, 他. メディカルチームコーチングプログラムの開発とその効果の検証～パイロットスタディー. 第47回日本医学教育学会大会 2015. O26-2.
 - ・ 北村大, 市川周平, 鶴飼友彦, 他. 主治医と産業界との連携と関連する環境要因: 横断研究. 日本疫学会 2016. P2-128.
 - ・ 若林英樹. 医学教育における行動科学・社会科学～地域医療現場からの学習ニーズ～. 第XX回日本医学教育学会. 2015/7/24. 新潟.
 - ・ 市川周平, 北村大, 鶴飼友彦, 他. 主治医と産業界との連携と関連する心理要因: 横断研究. 日本疫学会 2016. P2-129.
 - ・ 市川周平, 後藤道子, 吉田和枝, 他. 職種間・部署間連携が職業満足度および Well-being に及ぼす影響. 第8回日本保健医療福祉連携教育学会 2015. OIII-04.
 - ・ 市川周平. 一般化線形混合モデルの書き方. 第23回臨床疫学研究における報告の質向上のための研究会. 2015/12/19.
 - ・ 市川周平. 英文ライティングの基礎 + エクササイズ. 第24回臨床疫学研究における報告の質向上のための研究会. 2016/03/19.
 - ・ 後藤道子, 市川周平, 吉見憲二, 他. 本邦における医療福祉専門職養成校の多職種連携教育に関する現状調査 報告その2. 第8回日本保健医療福祉連携教育学会 2015. P-04.
 - ・ 後藤道子, 市川周平, 堀浩樹, 他. 医師のドレスコードの研究. 第47回日本医学教育学会大会 2015. O42-6.
 - ・ 吉田和枝, 後藤道子, 森洋平, 市川周平, 他. 医学生と看護学生の合同実習における振り返りからの学び. 第47回日本医学教育学会大会 2015. O21-3.
 - ・ 鶴飼友彦. 診療ガイドライン作成委員会報告～プライマリ・ケア医が今後診療ガイドライン作成に関わる為に～. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2015/6/13.
 - ・ 鶴田真三. 総合診療医の育成～家庭医療後期研修修了生の立場から～. 日本医療マネジメント学会 第14回九州山口連合会 2015.
 - ・ 和田健治. 65歳以上の高齢者の肺炎を臨床検査なしで同定するための臨床予測ルールの開発-第1報. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2015/6/14.
 - ・ 近藤誠吾. 腸閉塞症状で来院した原発性小腸癌の一例. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 2015/6/13.
 - ・ 谷崎隆太郎. HIV感染者における梅毒治療. 第28回日本性感染症学会学術大会シンポジウム.
 - ・ 原田直樹, 澤憲明, 中桶了太. 英国家庭医の医療面接～ビデオレビューを中心に～. 第6回プライマリ・ケア連合学会学術大会 2015/6/14.
 - ・ 荒木史郎. 多職種連携教育ワークショップに

おける薬学生の学びと気づき. 日本薬学会東海支部学術大会. 2015/07/04

- ・ 大西丈二. 現行モデルに基づく三重県内の市町村における性・年齢別将来必要病床数推計の一手法について. 第68回三重県公衆衛生協会学会 2016/1/12. 津市.
 - ・ 浦口亜弓, 乾己由希, 永井裕子, 城山真澄, 大西丈二. 食育アンケート調査結果からみえる食生活の課題. 第68回三重県公衆衛生協会学会. 2016/1/12. 津市.
 - ・ 城山真澄, 大西丈二. 日常生活圏域ニーズ調査による三重県内の一般高齢者の日常生活支援需要について. 第68回三重県公衆衛生協会学会 2016/1/12. 津市.
 - ・ 大西 丈二. 年齢および要介護状態区分から推計する将来の介護サービス必要者数に関する研究. 日本医療・病院管理学会誌 2015; 52 Suppl: 228. 第54回日本医療・病院管理学会学術総会. 2016/11/5-6, 福岡市.
 - ・ 大西 丈二, 小林 隆司, 小山 博史. 地域医療構想策定に資する都道府県単位での介護・慢性期医療の必要量に関するデータシート作成の試み. 第16回日本医療情報学会学術大会, 2015. 宜野湾市.
 - ・ 大西 丈二. 日常生活支援総合事業のWEB調査. 第26回日本老年医学会東海地方会. 2015/9/26. 名古屋市.
 - ・ 井谷礼, 城山真澄, 大西丈二. 介護保険事業所における日常生活支援総合事業開始後の意向調査. 第26回日本老年医学会東海地方会. 2015/9/26. 名古屋市.
 - ・ 城山真澄, 大西丈二. 日常生活圏域ニーズ調査未回答の要支援者のニーズについて. 第26回日本老年医学会東海地方会, 2015/9/26. 名古屋市.
 - ・ 大西丈二, 小田高司. 認知障害を伴う高齢者の金銭管理能力および意思決定能力に関する研究. 第23回日本慢性期医療学会 2015/9/10-11. 名古屋市.
 - ・ 木村圭佑, 石井亜弓, 水本洋子, 城山真澄, 佐野佑樹, 飯田蓉子, 大西丈二. 地域在住高齢者の足関節挙上角度と筋量との関連. 第13回日本臨床医療福祉学会. 2015/8/27-29. 名古屋市.
 - ・ 大西丈二, 岡田恵奈, 小田高司. 地域支援外来の試みの現状と課題について. 第13回日本臨床医療福祉学会. 2015/8/27-29. 名古屋市.
 - ・ 飯田蓉子, 石井亜弓, 水本洋子, 城山真澄, 木村圭佑, 佐野佑樹, 大西丈二. 地域在住高齢者におけるBDHQ(簡易型自記式食事歴法質問票)を用いた食事摂取状況と四肢筋量および体脂肪率との関連について. 第61回東海公衆衛生学会学術大会. 2015/7/11. 羽島市.
 - ・ 佐野佑樹, 石井亜弓, 水本洋子, 城山真澄, 木村圭佑, 飯田蓉子, 大西丈二. 地域在住 高齢者の運動機能と転倒の関連について. 第61回東海公衆衛生学会学術大会. 2015/7. 羽島市.
 - ・ 大西 丈二, 城山 真澄. 日常生活圏域ニーズ調査を用いた地域健康指標について. 第57回日本老年医学会学術集会. 2015/6/12-14. 横浜市.
 - ・ 飯田 蓉子, 大西 丈二. 日常生活圏域ニーズ調査から検討した外出頻度と口腔ケア・栄養の関連について. 第57回日本老年医学会学術集会. 2015/6. 横浜市
 - ・ 城山真澄, 大西丈二. 地域在住高齢者における健康関連 QOL および幸福感と求められる地域サービスの関連について. 第57回日本老年医学会学術集会. 2015/6. 横浜市.
 - ・ 大西丈二, 瀨瀬祐子, 大田祥子. 奈良県における回復期リハビリテーション病棟医療機能の見える化取組の進捗紹介. 第52回日本リハビリテーション医学会. 2015/5/28-30. 新潟市.
5. 海外学会・研究会発表(口述, ポスターを含む)
- ・ Ichikawa S, Gotoh M, Yoshida K, et al. Factors related to the subjective characteristics of interprofessional working in a tertiary care unit: a cross-sectional study. APMEC 2016. A1451.
 - ・ Haruta J, Iioka T, Kojima A, Yoshimoto H, Yoshimi K, Ichikawa S. How does the complexity of cases influence the consensus-building and objective-setting in multi-professional case conferences? AMEE 2015, #7DD07.
6. ワークショップ, 講演会講師, その他(新聞掲載, テレビ出演等)
- ・ 若林英樹. 医学生が学ぶべき「他者理解/自己理解」の視点と方法. 第XX回医学教育学会シンポジウム. 2015/7/24. 新潟.
 - ・ 和泉俊一郎, 星野晋, 竹腰進, 樫田美雄, 道信良子, 川上ちひろ, 若林英樹, 日高友郎, 河本

- 慶子 (日本医学教育学会準備教育・行動科学教育委員会). 社会科学・行動科学の PBL チュートリアルのための臨床症例のシナリオ教材の作成. 第 58 回医学教育セミナーとワークショップ, ワークショップ. 2015/10/18. 高松.
- ・ Tod Edwards (講師), 若林英樹, 矢部千鶴, 田口智博, 湯浅美鈴, 中富尚宏 (実行委員). 家族志向の医療・ケア集中コース. 2015/11/2-6. 三重大学.
 - ・ 若林英樹. 日常診療で役立つバイオサイコソーシャルアプローチ～家族療法の視点から～. 三重保険医協会講演会招待講演. 2015/11/26. 津市.
 - ・ 和泉俊一郎, 星野晋, 竹腰進, 樫田美雄, 道信良子, 川上ちひろ, 若林英樹, 日高友郎, 河本慶子, 大貫優子 (日本医学教育学会準備教育・行動科学教育委員会). 臨床コンテキストで行動科学を学習するための PBL 教材を作成する. 第 59 回医学教育セミナーとワークショップ. 2016/1/23-24. 岐阜.
 - ・ 川上ちひろ, 今福倫太郎, 恒川幸司, 若林英樹, 近藤諭. ワークショップ IPE Theater～IPE の映像教材作りのステップ～. 第 59 回医学教育セミナーとワークショップ. 2016/1/23. 岐阜.
 - ・ 若林英樹, 招待講演「医学教育への行動科学・社会科学の導入」, 近畿大学 FD「グローバルスタンダードに基づく医学教育をめざして」, 2016 年 1 月 26 日, 近畿大学, 大阪
 - ・ 森洋平. 愛仁会医師臨床研修指導医セミナー「患者と医師の関係 研修プログラムの立案」講師
 - ・ 近藤諭. 医師として人の死に遭遇した時に. 第 5 回死体検案講習会. 2016/1/24.
 - ・ 近藤諭. 日本でどんな家庭医が育っているの?～家庭医療専門医試験を体験する～. 第 27 回学生・研修医のための家庭医療学夏季セミナー 2015.
 - ・ 洪英在. 望ましい胃ろう、望ましくない胃ろう～胃ろうに関する議論の整理を行いましょ～. 第 17 回日本在宅医学会もりおか大会 2015/4/26-27. 盛岡市.
 - ・ 洪英在. アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援の臨床. 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2015/6/13. つくば市.
 - ・ 洪英在. 地域医療連携ワークショップ ～ケースで学ぶ在宅医療との連携～ 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2015/6/13. つくば市.
 - ・ 洪英在. 電子カルテの導入されていない病院勤務の立場での雑感. プライマリケア連合学会中部ブロック支部集会 2015/11/29. 名古屋市.
 - ・ 洪英在. 地域ケアシステムと管理栄養士. 訪問栄養研修会(愛知県栄養士主催) 2015/6/27. 名古屋市.
 - ・ 洪英在. 老年期のココロとカラダ～認知症って何?もの忘れて?～. 立命館大学 現代人とヘルスケア講義. 2015/7/18. 京都市.
 - ・ 洪英在. 認知症予防ってできるの? 太郎生地区健康づくり相談会. 2015/8/24. 津市.
 - ・ 洪英在. フレイルについて. 山田野地区敬老会. 2015/9/23. 津市
 - ・ 洪英在. 認知機能低下者の栄養関連問題点の整理と各問題点に関して栄養士に期待すること. 三重県地域活動栄養士連絡協議会訪問栄養研修会. 2015/10/13. 津市.
 - ・ 洪英在. 自分らしくいきぬくために～口から食べる幸せを最期まで～. ハツ山老人クラブ健康まつり. 2015/10/18. 津市.
 - ・ 洪英在. プライマリケア認知症診療～アルツハイマーを重点的に～. 三重県保険医協会. 2015/11/19. 津市.
 - ・ 洪英在. 自分らしく「いきぬく」ために. 市民公開シンポジウム. 2016/1/31. 掛川市.
 - ・ 矢部千鶴. 多職種連携 2 (ポスターセッション座長). 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 2015/6/14.
 - ・ 鶴飼友彦. 根拠に基づく予防医療:個々の患者に対するアプローチ、地域に対するアプローチ. 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2015. 2015/6/13.
 - ・ 鶴田真三, 原田直樹, 近藤諭, 橋本修嗣, 矢部千鶴. もしふつうの研修医が家庭医療研修をうけたら～もしカテ～. 第 27 回学生・研修医のための家庭医療学夏季セミナー 2015.
 - ・ 鶴田真三, 原田直樹, 近藤諭. もしふつうの研修医が家庭医療研修をうけたら～もしカテ～. 三重大学医学部附属病院家庭医療学エクスターンシップ 2015.
 - ・ 鶴田真三. もしふつうの研修医が家庭医療研修をうけたら～もしカテ～. 学生・研修医のための総合診療医セミナー in 東北. 2015.
 - ・ 鶴田真三. 地域に求められる医師像. 平成 27 年度夏季学生地域医療実習 (熊本大学・自治医科大学). 2015.

- ・ 鶴田真三. もしかて学校医. プライマリケア
連合学会 冬期セミナー. 2016
 - ・ 鶴田真三. 高血圧. 久居一志地区住民健康講
座 2015.
 - ・ 鶴田真三. 一志病院の活動について. 津生協
病院健康講座 2015.
 - ・ 鶴田真三. 嚥下機能について. 津生協病院健
康講座 2015.
 - ・ 鶴田真三. いつまでもムセずにおいしく食べ
られるように. 一志病院健康講座 2015.
 - ・ 鶴田真三. 認知症について. 伊勢地地区敬老
の日健康講座 2015.
 - ・ 鶴田真三. 津市白山地区発達支援勉強会
2015. 合計5回
 - ・ 橋本修嗣. もし家庭医であるあなたの暮らす
地域で災害が起きたら. 家庭医療学セミナー
in Mie 2015. 2015/6/27, 津市.
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市民大学キラリ、あなたが創る
亀山の医療～今日からできる予防医療～、
2015/10/30
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、インフルエ
ンザ、2015/12/14
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、有酸素運動、
2015/12/24
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、抵抗運動、
2016/01/07
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、転倒予防、
2016/01/19
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、ロコモティ
ブシンドローム(1)、2016/02/04
 - ・ 小嶋秀治. 亀山市神辺地区講演会、ロコモティ
ブシンドローム(2)、2016/02/23.
 - ・ 岩佐紘. 見える事例検討会を用いた介護困難
事例の解決. 亀山市在宅連携会議. 2015/9/10.
 - ・ 谷崎隆太郎. NHK 名古屋放送局ラジオ 夕刊
ゴジラジ 生肉にご用心. 2015.4.16
 - ・ 谷崎隆太郎. NHK 名古屋放送局ラジオ 夕刊
ゴジラジ MERS について. 2015.7.7.
 - ・ 谷崎隆太郎. 第10回合同医療安全研修会特別
講演 みんなで備える！日常診療に潜む感染
症の脅威（講演会講師）. 2015.8.27.
 - ・ 谷崎隆太郎. 読売新聞 第1回三重メディカル
ラリー優勝. 2015.11.26.
 - ・ 谷崎隆太郎. 伊和ジャーナル 同上.
2015.11.28.
 - ・ 谷崎隆太郎. 朝日新聞 同上. 2015.12.2.
 - ・ 谷崎隆太郎. 伊和新聞 同上. 2015.12.3.
 - ・ 谷崎隆太郎. NHK 名古屋放送局ラジオ 夕刊
ゴジラジ ノロウイルスについて.
2015.12.21.
 - ・ 谷崎隆太郎. NHK 名古屋放送局テレビ ほっ
とイブニング 梅毒の流行について.
2016.1.14.
 - ・ 原田直樹. もし、家庭医療/総合診療/地域医療
に興味があるなら、どこでどんな初期研修が
適切か」～もしカテ～. 家庭医療学セミナー
in Mie 2015.
 - ・ 原田直樹. 長崎から三重へ～原田直樹は何を
しているか～. 長崎大学地域医療フォーラム
2015.
- ZTV「元気のツボ」
- ・ 近藤誠吾. 様子を見るは何をみる？
 - ・ 湯浅美鈴. 緩和医療～自分らしい人生の最終
章を迎えるために～. 平成27年11月8日か
ら15日放送分.

■ 今後の展望

当診療科は、大学病院に訪れる患者さんのニーズ
に応えられるように頑張ります。とくに大学病院の
総合診療科でしか解決できないような患者さんの期
待に応じていきたいと思えます。また、医学生や研修
医に総合診療を教育・研修して、三重県や全国にプ
ラマリ・ケアを効果的に実施できる医師を育成して
いきます。その教育ができる指導医・教員の育成を
します。多職種医療従事者が協働して患者さんおケ
アができるように教育します。さらには総合診療に
かかわる研究を精力的に実施して、日本や世界の総
合診療・家庭医療の発展に寄与してきます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/soshin/>